

情報連絡員報告総括表(平成29年1月分)

三重県中小企業団体中央会
連絡員総数 40名
回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>(臨時・パートを含む)</small>			業界景況									
	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	上 昇	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	上 昇	不 変	悪 化	増 加	不 変	減 少	好 転	不 変	悪 化							
製 造 業	食 料 品	1	3		1	3		1	3			4			3	1		3	1		4			3	1		3	1						
	織 維 工 業		3			3			3			3			2	1		2	1		2	1		3			2	1						
	木 材 ・ 木 製 品			1		1			1				1			1		1				1		1				1						
	紙 ・ 紙 加 工 品			2		2			2			2			1	1		2			1	1		2			1	1						
	印 刷		1			1			1			1			1			1			1			1			1							
	化 学 ・ ゴ ム																																	
	窯 業 ・ 土 石 製 品		1	2		3			3			3			2	1		3			2	1		3			3							
	鉄 鋼 ・ 金 属	1				1			1			1		1				1		1			1			1								
	一 般 機 器	1	1	1		1	2		3			3		1	1	1		3		1	1	1	1	1	1	1	2							
	電 気 機 器	1				1				1		1			1			1		1				1		1								
	輸 送 機 器		1			1			1			1				1			1			1		1			1							
そ の 他																																		
小 計	4	10	6	1	17	2	1	18	1		19	1	2	11	7		17	3	3	11	6	2	16	2	3	13	4							
非 製 造 業	卸 売 業	1		1		2			1	1		2			1	1		2		X				2			1	1						
	小 売 業	1	3	2		6		2	4			4	2		3	3		3	3					5	1		3	3						
	商 店 街		1				1		1			1				1		1									1			1				
	サ ー ビ ス 業		3	2	X				5			5			3	2		4	1								5			4	1			
	建 設 業		2	2					3	1		3	1		3	1		3	1					3	1					4			4	
	運 輸 業			1					1			1			1			1						1						1			1	
	そ の 他		1							1		1			1				1					1						1			1	
小 計	2	10	8					8	1	2	15	3		17	3		11	9		15	5					19	1		15	5				
合 計	6	20	14	1				25	3	3	33	4		36	4	2	22	16		32	8	3	11	6	2	35	3	3	28	9				

最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成28年1月～平成29年1月)

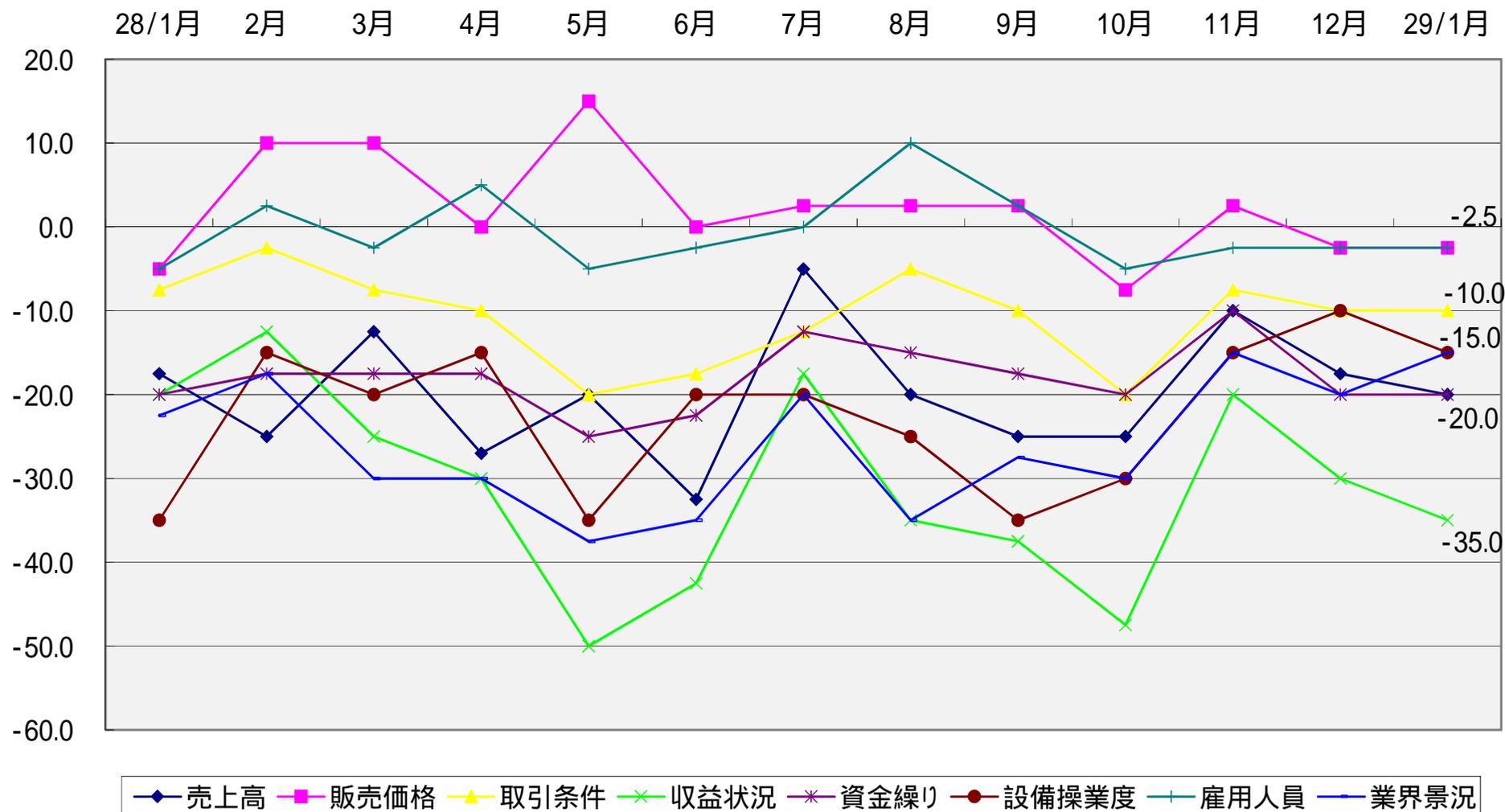
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	28/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29/1月	増減
売上高	-17.5	-25.0	-12.5	-27.0	-20.0	-32.5	-5.0	-20.0	-25.0	-25.0	-10.0	-17.5	-20.0	-2.5
販売価格	-5.0	10.0	10.0	0.0	15.0	0.0	2.5	2.5	2.5	-7.5	2.5	-2.5	-2.5	0.0
取引条件	-7.5	-2.5	-7.5	-10.0	-20.0	-17.5	-12.5	-5.0	-10.0	-20.0	-7.5	-10.0	-10.0	0.0
収益状況	-20.0	-12.5	-25.0	-30.0	-50.0	-42.5	-17.5	-35.0	-37.5	-47.5	-20.0	-30.0	-35.0	-5.0
資金繰り	-20.0	-17.5	-17.5	-17.5	-25.0	-22.5	-12.5	-15.0	-17.5	-20.0	-10.0	-20.0	-20.0	0.0
設備操業度	-35.0	-15.0	-20.0	-15.0	-35.0	-20.0	-20.0	-25.0	-35.0	-30.0	-15.0	-10.0	-15.0	-5.0
雇用人員	-5.0	2.5	-2.5	5.0	-5.0	-2.5	0.0	10.0	2.5	-5.0	-2.5	-2.5	-2.5	0.0
業界景況	-22.5	-17.5	-30.0	-30.0	-37.5	-35.0	-20.0	-35.0	-27.5	-30.0	-15.0	-20.0	-15.0	5.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票 (三重県中小企業団体中央会・平成29年1月分)

	集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	食料品	漬物	会員による今年度の業界や自社を取り巻く見通しについては「良い」、「同程度」、「悪い」との声があり、バラツキが見られた。しかし、いずれも営業力の強化、経費の削減、利益率の改善、新商品の開発などに対する取り組みの重要性の認識は同じであった。今後、特に懸念される事項として、原材料の安定確保と労働力の確保が挙げられる他、価格競争から品質競争に向けた各種支援を求める意見が多かった。
		醤油味噌	景気低迷により、組合員の得意先によっては、信用不安もあり、相変わらずの停滞が続いている。原材料表示については、ほぼ決まりつつあるが、HACCPについては、検討されているところである。小学校へのしょうゆ出前授業については、今年度、県別で全国でトップになりそうである。
		豆腐	平成28年度の国産大豆の第一回入札が1月14日に実施された。全国的に天候不良による作柄悪化や単収減による供給量減少で入札価格への影響が心配されたが、60kg当り9,000円弱で入札されており、今回の結果を見る限り、概ね平穏な価格で入札されている様である。
		製麺	昨年度、平成27年12月と平成28年2月は、伊勢うどんの売れ行きが好調であったが、やや落ちついてきている。今後さらなる発展のために、イベントや伊勢うどんの新しい商品開発をはじめ、今後の組合活動に取り組んでいく。
	繊維工業	衣料	外国人技能実習制度への対応が変わるようで、現状の維持ではなく、色々対応が必要になりそうである。前年とあまり変化はないが、衣料品は相変わらず厳しい状況である。加工賃も前年と同じ位安い価格で推移している。また、ロット数はやや減少している。
	紙・紙加工品	紙器段ボール	正月連休の影響からか前半は仕事量が多かったが、中旬より落ち着く。今月の生産量は、昨年と同じくらいか若干マイナス基調になる。中国向け古紙の輸出が伸びており、国内の古紙価格が高騰している。今後、段ボール原紙、段ボールシートへの値上げが懸念される。
		古紙	1月期の仕入れ量は、前年比：段ボール・約98±4%位、新聞、チラシ・約92±4%位、雑誌、雑紙、その他・合わせて約95±6%の中での推移と思われる。トランプ大統領の就任とつづやきで為替が乱高下し、国際的企業グループが方針を変更したり、大きく振れている感があるが、大都市や政令指定都市圏ではない市町村の中小零細企業は、低位右肩下がりのように思えてならない。昨年、ある税務署長が厚生省の白書を資料にして、少子高齢化と人口減少の御講演をいただき、早速、自分の年齢と10年後、20年後、30年後と線を書き入れて予測と高齢化した自分を想像した。次世代の後継者のサポートに努力するのが、賢明と判断している。泥棒に準じた古紙の持ち去り行為は、未だに活発であるが、市の職員や一般人では手に負えず困っている。善意のある実力者や執行者が見つかり、適切な対処をしていただけると良いのだが。
	印刷	印刷	地域や業種により多少異なるが、紙媒体の印刷需要は厳しい業況が続いている。これから年度末の繁忙期を向かえ、昨年以上の収益に期待したい。
	窯業・土石製品	伊賀焼	1月は厳しい寒さと降雪が2度あり、その影響からか、来館者は、伊賀焼伝統産業会館、伊賀・信楽古陶館ともに昨年と比べて大きく落ち込んだ。また、売上では、伊賀・信楽古陶館が大きく落ち込んだ。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は、扱う製品により異なるが、12月と比べ生産(稼働)日数が少ないものの率としては、ほぼ同等であった。自動車関連はやや減少、電器関連は同様、その他製品は増加したものと減少したものとに分かれたのも先月と同じであった。半導体関連は、12月よりも更に増産依頼があり、人員不足で生産が間に合わず、派遣対応で凌いでいる状況である。今後に関しても、この状況は続く模様である。
	一般機器	四日市	一時期に比べるとやや仕事量が増加している傾向にある。しかし、収益状況にはなかなか改善がみられず、組合員も経営努力に努めている。
	電気機器	鳥羽	受注量は順調に続いており、昨年同期比で15%アップしている。しかし、手放しで喜ぶ状況ではなく、不安材料も多い。
	輸送機器	鈴鹿	年度末を控え、徐々に受注が増え、操業時間も上がっているが、昨年同期と比べるとまだ低く感じられる。
非製造業	卸売業	津	人材不足(求人難)
	小売業	青果	野菜：前半、キャベツ・白菜・玉葱は平年並、ホーレン草、ブロッコリー、小松菜は、正月明けで入荷が多くお買い得である。ジャガイモは不作で高い。後半、入荷量は全体的に品薄だが、消費も伸びず、キャベツ、ホーレン草、大根はやや安い。人参、ジャガイモは高値。果物：みかんは県内産の青島みかんが中心、リンゴは青森産サンフジが品薄で高い。イチゴはやや安く、後半寒波の影響で入荷が遅れているが、甘味が多い。柑橘類はこれから旬である。はっさく、ぼんかん・デコポン・はるみ等食べ比べてほしい。
自転車		2017年モデルの商品が全車種出そろい各ショップが新作発表会、展示会等の催しを行った。しかし、中旬以降は、悪天候となり、予定していた半数の客しか来場せず、中・北勢地区の店は大きな痛手となった。価格帯としては、春需商品に関して、昨年大きく値上げしたこともあり、6万円程度の商品に集中した感がある。それと同時に一部メーカーが生産調整したことにより、一部の商品が月末から入手困難な状況が出始めている。	

非製造業	小売業	家電	1月度対前年比大幅ダウンの見通し、なお厳しい状況である。業界では、29年度商戦の考え方や商品勉強会等を実施、具体的な販売促進策の検討をしている。29年度春商戦は、3月～4月に地区ごとに合同展示会を企画している。
		石油	1月度の燃料油販売の自動車燃料油数量については、前年対比3%前後の減販であった。特に燃料油の中で、寒波の影響もあり、ガソリン販売は低迷したが、灯油については、寒さの影響もあり、前年対比8%前後の増販であり、燃料油全体としては、2～3%の増販の状況であった。今後の収益面において、特にガソリン販売数量は、減販傾向であり、車検及びタイヤ販売等の油外商品の販売促進強化を図りたい。
		スポーツ用品	スポーツ用品のメーカーの中に非常に厳しい取引条件を提示してくるメーカーが数社出てきた。それぞれ個店の問題なので、組合として介入できない部分もあり、心配している。
	商店街	熊野	第5回目として開催された熊野のサンマをPRするイベント「熊野きのもとさんま祭り」は、熊野周辺ほか県外などからの集客があり、昨年以上の盛り上がりを見せた。特に、今回は会場近隣の熊野古道を周遊した後、会場に訪れるツアーも組み込まれ、名古屋周辺のツアー客300名がさんま丸干しを堪能した。ただ、今回はさんまの水揚げが無く、苦肉の策として宮城産のものを使用し、地元の加工業者の協力により、丸干しが製造された。今後開催するにあたり、水揚げが減少される事も懸念され、存続を含め開催方法が検討される。
	サービス業	旅館	昨年同様年始の休日が短かったため、宿泊施設はどれも業況は良くなかったようである。それに相次ぐ大雪の影響で、湯の山温泉では、急坂のため上ることができず、駅周辺に駐車して送迎バスを出して対応した。東名阪道も四日市付近が雪のため渋滞し、団体客、個人客とも到着が大幅に遅れることもあった。1月全体では、昨年より少し低調で、昨年秋は、近年にない位好調であったが、これから先の先行予約状況も低調のまま推移している。
		警備	年度末を控え、仕事量は、いくらでもあるが、人員不足で受注ができないのが現状である。
	建設業	内装工事業	昨年末からの流れで、1月も対前年比で、売上等減少となった。業界内では、年度末に向けて、仕事量は増加傾向にあるが、これも地域差があり、業界全体ではマイナスとなっている。
		水道工事業（四日市）	今月は特に大きな変化は見られなかった。ただ雪の日もあり、また、寒い日が続いたため、水道関係の修理業務が増加した。
	運輸業	トラック	県内大雪により、通行障害が発生。車両通行停止のため、稼働率が悪化した。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	
食料品	製麺	引き続き情報をお願いします。
繊維工業	衣料	縫製加工賃の上昇を望みたい。最低賃金が上昇しても、平均加工賃は据え置きのみである。
一般機器	四日市	アメリカ大統領の施政方針が日本にとって、如何なる影響を及ぼすか未だ読めない。政府の対応に誤りのないことを願う。
	伊勢	海外に関連会社があり、移転価格税制にも注意する必要があるが、国によって法律や税制度の変更リスクを余儀なくされる。為替レートの変動も業績に影響があるが、自動車関連等、業界動向についての情報発信を多くしてほしい。
サービス業	旅館	1月末より中華圏の国では、春節が始まり、その休暇を利用して、場所によってはインバウンドのお客様ばかりで賑わっている所もある。三重県では、FIT（外国人個人旅行者）のお客様が少しは来られているが、まだまだ誘客対策を官民をあげて取り組む必要がある。
運輸業	トラック	荷主先における積込み、積み降しの時の待機時間改善に向けた省庁あげでの啓発をお願いしたい。